

kermit について

理学部情報科学科 八重樫 裕 幸

slyae@si.hirosaki-u.ac.jp

kermitとはmytalkとかhterm等の通信ソフトのことです。hterm等と違うところは、serverとクライアント（と読んでいいのかわからないが）と言う関係でkermitソフト同士が通信するところです。従って、制御コード（ASCII0x00~0x1f）を通す通信線ならバイナリデータでさえも転送可能です。

情報科学科では次のようにして利用しています。WS、X端末にパソコンを接続し、パソコンのkermitソフトを用い、WSにtelnet、rlogin等でloginし、WS用のkermitソフトをserver modeで立ち上げます。パソコン側のkermitのターミナルmodeを待避しkermit modeになり、get、putでバイナリやテキストファイルの転送を行っています。

この場合、etherボードはいりませんが近くにX端末、WSのどちらかがないと高速に転送出来ません。高速といってもWS、X端末とパソコンの通信速度による制限までですが、情報科では19200bpsで利用しています。昔のNEC9800シリーズで5MHzまたは10MHzのクロックに切り替えられるものは（9801、9801E、F等）十分19200bpsの通信が可能です。8MHzのものは9600bpsまでらしいです。

kermitのソフトはセンターzws0にインストールされていますし、パソコン用のkermitはftp.si.hirosaki-u.ac.jpのftpサーバに圧縮されて有ります。これを手にいれDOCファイルを読みながらインストールするだけで直ぐに利用可能です。忘れてはいけないことはWSまたはX端末のシリアルポートにRS232Cのクロスケーブルでパソコンと接続しておくことです。

なお、ネットワークに直接接続されているNECのCSに接続しても、CSでコントロールコードを通してくれないためkermitを利用することは出来ません。kermitのterminalモードを利用してtty端末として利用することは出来ます。

通信の手順

- 1) パソコンからkermitを立ち上げます。
- 2) returnキーを押します。

画面にloginがでたらPCとX端末またはWS間の通信はうまくいっています。でなかった場合は、WSまたはX端末が立ち上がっていないか通信パラメータが合っていないと考えられます。（ケーブルのトラブルも考えられます。）まずパラメータのチェックを行って下さい

い。X端末の場合はセットアップモードでシリアル回線の設定をみて下さい。

次に、パソコンの通信パラメータは `ctrl+]` を押し、続いて `c` を押します。すると、kermitモードの「`kermit>`」プロンプトが現れます。そこで、`?` を押すとkermitモードのコマンドが現れます。通信パラメータの設定を確認するには「`show`」と入力してください。X端末で設定している項目がkermitの設定と一致するようにkermitの設定を変更するかX端末の設定を変更してください。変更し終わったら、`c` と入力するとterminalモードになります。

もう一度returnを押してloginがでる事を確認して下さい。

3) あらかじめもらっているuser-IDを入力しパスワードを入力してloginして下さい。

4) 転送したいWSにtelnetまたはrloginで入りなおしてください。

(WS用kermitのあるマシン)

5) kermitと入力します。

(バイナリデータの転送の場合は「`kermit -i`」、help表示は`kermit /help`)

するとWS用のkermitが立ち上がりkermitのプロンプトが帰ってきます。

そこで、`server`と入力します。

暴走したかのようににもレスポンスがなくなります。これで構いません。

6) `ctrl+]` を押し、続いて`c`を押しkermitモードに入ります。

(パソコン側の操作に移ります)

?でコマンドを確認しファイルをGetするなりSendするなりしてください。

7) 終了する場合は`bye`と入力するだけでWSのkermitは終了しlogoutされ、

パソコンのkermitも終了します。

8) 確認のためもう一度kermitをたち上げreturnを押してみてください。

loginではなく、WSのプロンプトが帰ってきたら、「`logout`」と入力しloginが表示されるまでlogoutしてください。

(telnet、rloginで芋づるしきにloginしているばあいがありますので、確認してください。)

おしまい。